



継続と改革



例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南

住 所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 黒岩久登

職業奉仕月間

第 3361 回例会	No.24	2024. 01. 17	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	18 時 30 分	「それでこそロータリー」	
四 つ の テ ス ト	河野通郎 君		
例 会 行 事	夜間例会 結婚・誕生者卓話		

会長時間

今日は子供の心臓移植についてのお話をさせていただきます。

わずか4歳2か月で旅立ってしまった。身長は80センチにも届かず、体重も8キロに満たない小さな体。2022年4月29日。心臓移植がかなわず、命を落とした玉井芳和ちゃんの頭をなでながら、母の敬子さんは(37)何度も「ごめんね、ごめんね」と繰り返した。

「国内での移植を選んでいなければ」「渡航移植を目指していれば」「親として何をしてあげられただろう」。無念や後悔に襲われ、ただただ自信を責めた。「移植待機を私たちが勝手に決めたせいで、芳和には苦しいことばかり。人生を謳歌させてあげられなかった」。

この世に生まれてきた日、こんな残酷な結末を予期し得なかった。芳和ちゃんは2018年2月福井県内で3人兄弟の末っ子として生まれた。体重は3400グラムあり、ミルクをよく飲んだ。敬子さんは順調な成長を信じて疑わなかった。夏に入るとミルクを残し始め、近所の小児科で「夏バテ」と診断された。点滴を受けて一時は持ち直したが、しばらくすると容体が悪化。10月には離乳食を全く口にできなくなり、近所の医療センターに入院した。見立ては急変した。

こわばった表情の医師が告げたエコー検査の結果は、夫婦の想像をはるかに超えた。「心臓が大きくなっていてほとんど動いていません」 転院を繰り返し、11月に敬子さんの実家がある京都府内の病院へ。検査を重ねた末、診断名が確定した。「拡張型心筋症」。心臓を収縮させる心筋細胞の動きが悪くなり、心室が広がる病気で、悪化すると心臓移植や補助人工心臓が必要となる。医師の告知は衝撃的だった。「もう、心臓移植しかないと思います」「なぜちゃんと生んであげられなかったのだろう」と自信を責める敬子さんに、医師は問いました。「移植まで命をつなぐ小児用の体外型VAD(エクスコア)ですが、東京の病院に1台だけ空きがあります。移植を受けるか否か、すぐに決めてください」

心臓移植を目指すか、生きることを諦めるか。突如として我が子が人生の岐路に立たされた。敬子さんは「芳和の命を諦めたくない」と思う一方で「ほかの子供の命をもらっていいのか」と一瞬ひるんだ。同席していた夫の芳英さんは(40)「助かるなら」と即座に決断した。その後も大きな判断を迫られる。国内で移植を待つか、渡航移植かという2択だった。子供の移植をめぐる国内事情は極めて厳しい。15歳未満の子供の臓器提供も家族の同意があれば可能とした改正臓器移植法が2010年に施行されたが、日本臓器移植ネットワークによると、6歳未満の脳死者からの臓器提供は2018年10月末までで計9例にとどまる。

敬子さんは一抹の不安を覚えたが、国内待機を選んだ。幼い子供二人を連れて渡航するのは現実的ではないと考えた。一つだけ幸運に恵まれた。東京の病院にしか空きがなかったエクスコアが、大阪府吹田市にある「国立循環器病研究センター」で装着できることとなった。状態が改善した子供がいたので、空きが生じたのだ。ドイツの医療機器メーカー「ベルリンハート」社製で、新生児や乳幼児に使える世界唯一のVADだ。冷蔵庫ほどの大きさの駆動装置(ポンプ)と体をチューブでつなぎ、心臓が血液を全身に送る働きを助ける。1台約4000万円と高額で心臓移植の絶対数も少ないことなどから国内稼働は約30台。夫婦は救われた思いで京都へ転居した。

12月27日、芳和ちゃんは移植まで命をつなぐエクスコアの導入手術を受けた。夫婦に示された移植までの待

機年数は「およそ3年」。しかし、病魔は容赦がなかった。さらに検査を進めると、実は拡張型心筋症ではなく、国の難病指定「ミトコンドリア病」の心合併症である「ミトコンドリア心筋症」と分かった。

ミトコンドリア病は細胞内の器官「ミトコンドリア」の働きが落ちて臓器の障害や筋力低下、発育の遅れといった症状が表れる病で、治療法は確立していない。しかも芳和ちゃんは術後の状態が芳しくなく、短期間で4度の開胸手術を受けた。「あと3年も頑張れるだろうか」。夫婦に不安が芽生えた。国立循環器病研究センターは患者家族の泊まり込みが許されていない。一家で大阪へ転居し、敬子さんが週に6日、芳英さんは日曜日に病院に通った。付き添い時、エクスコアを装着して長さ約2メートルの管が届く範囲でしか動けない芳和ちゃんを敬子さんはずっと抱っこした。懸命に生きる我が子と離れたくなかった。芳和ちゃんは体が強くなく、移植待機開始後も「ずっと低空飛行」(恵子さん) 容体が急変して集中治療室に入ることもあった。

腸の働きの悪化による消化不良で食事も徐々にとれなくなり、発達も極めて穏やか。いずれもミトコンドリア病の影響が暗い影を落としていた。それでも芳和ちゃんからは生きる意志が感じられた。体は小さいままだが、顔つきがしっかりとして言葉も徐々に増えた。「移植までは何とか持つてくれるのでは」我が子の生を信じる夫婦の希望につながった。

幹事報告

1. 宮崎県中部・南部グループIM開催の参加につきまして、数名の方が参加の可否についてご回答がありませんので、出欠表を回覧致しますのでご記入方をよろしく願います。
なお、本日欠席の方々につきましては、事務局よりグループLINEにて出欠のご案内を致します。
2. 鹿児島城西RCの例会場が1月より変更になった旨、連絡がありました。
(変更後の例会場)
ホテルサンディズ鹿児島
〒892-0844 鹿児島県鹿児島市山之口町9-8 TEL : 099-227-5151 FAX : 099-227-4667
3. ロータリー希望の風奨学金より、風の便り(111号)が届いておりますので、回覧致しますのでご覧ください。
4. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、ハイライトよねやま No.286号 が届いております。

委員会報告

親睦委員会 誕生 石灘寛樹君(1965) 中山智司君(1968)

結婚 甲斐信之君(1985)

70周年実行委員会 永年会員(2023年11月末現在)

小玉 淳君 在籍40年 清水満雄君 在籍40年 土屋昭次君 在籍35年
落丸正博君 在籍33年 日高章太郎君 在籍31年 野崎正彦君 在籍30年
渡邊眞一郎君 在籍30年

記念式典わかば奨学生スピーチ者

谷部希羽君 日南高等学校 鹿児島大学在学中

板東大士朗君 日南振徳高等学校 情報リノベーション科1年

谷口真美さん 日南看護専門学校 都城市役所(障がい福祉課勤務)

塩月拓眞君 宮崎福祉医療カレッジ 宮崎県警察 勤務

新屋敷愛音さん 日南学園高等学校 看護科3年

釜山港都RCの件・・・今のところ連絡が取れていない

時計塔の除幕式 6月8日(土)

懇親会時のBGMの件・・・日南高等学校吹奏楽部に決定

茜会 第226回茜会コンペの案内 2月25日(日) 宮崎国際空港CC 10:16 スタート

スマイル

年末ジャンボ当選者一同 年末ジャンボの当選金をスマイルします。特に、河野通郎君には、当選金全額(14,500円)をスマイルいただきました。ありがとうございます。

例会行事

結婚・誕生者卓話

石灘寛樹君(誕生)

1月12日に59歳になりました。お祝いいただきありがとうございます。



1月12日と言えば、何年か前にも話したような気もしますが、桜島の大正大噴火（大正3年（1914年））の日です。このときの噴火で幅360m推進75mあった海峡が埋まって桜島と大隅半島とが繋がりました。この噴火の前には宮崎県西部を震源とするM7の地震（1909年）、喜界島地震（M8 1911年）という前兆と見られる地震があったようです。

近年、西之島が噴火し島の面積を広げています。硫黄島もこの10年で8メートルも隆起しており、昨年海岸で火山活動が確認されています。近辺では海底火山も爆発しています。

そして、元旦に発生した能登半島地震。最大震度7、マグニチュードは7.6といわれています。

火山地震災害の多発する国に住んでいるのだと今一度心に刻まなければならないと思いました。地震は避けられませんが、家具転倒防止や避難グッズの準備など被害をできるだけ小さくする対策はとることができます。救援が来るまでの間なんとか持ちこたえる水食料などを再点検するなどして、災害対策を見直そうと思っています。

中山智司君（誕生）



本日は誕生日のお祝い、ありがとうございます。誕生日卓話をさせていただきます。

「1月生まれの人々は、冬の中で生まれたためか、どこか特別な魅力をもっています。まるで氷のように冷たいようであり、中に秘めた熱さがあります。その瞳には凜とした輝きがあり、言葉遣いや行動にも品格が感じられます。1月生まれの人々は、まさに冬の王子や王女のような存在です。1月生まれの人々は、冬の中で生まれたためか、どこか特別な魅力をもっています。」

これは生成AI、CHAT GPTに「私が1月誕生日でお祝いをいただき、代わりに卓話の依頼を受けた場合の卓話の例文をお願いします。」と投げかけた回答の例文です。このように、便利ではありますが、使う側が間違った投げ掛けもしくは曖昧な投げ掛けをするとこのように意図するものと違う回答がきます。卓話という認識が薄く、お祝いの言葉として捉えられたのかもしれない。

本日、日経にネット銀行であるGMO あおぞらネット銀行が、スタートアップ企業に対し、入出金のキャッシュフローを分析するシステムに人口知能（AI）を組入れ、審査を高速化し、2営業日で決算書無し、無担保で融資する取組みをしており、またライバルネット銀行の住信SBI ネット銀行は取引先から融資の相談が来る前に、AIを使って口座の収支情報を分析し、あらかじめ金利などの条件を知らせる「プッシュ型」融資を取組んでいるという記事がありました。

地銀としては脅威ではありますが、当初の融資の際には利用するらしいのですが、会社が取引拡大していく際には、金利交渉等様々な相談も出てくるとのことで、徐々にメガバンク、地銀との取引に変移していくとも書かれておりました。

効率性を求めていく場面では生成AIの利用は必要ですが、まだまだ対面での取引が必要な場面では人と人とのコミュニケーション能力が必要だと感じたところです。

ただ、今後、生成AIの活用は必要です。後は利用データを蓄積し、分析精度を高めていくことと、利用する側の使い方も考えなければならないと思います。

今回の卓話に対する問い掛けのように、使う側の指令が曖昧だとまだ正確な回答は得られないような気がします。誕生日卓話でありましたが、私のCHAT GPTへの問い掛けが上手くなく、グダグダでの卓話となり申し訳ございませんでした。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今週	30	8 (3)	27	18	1	8	19	70.37%
出席免除	落丸、清水、渡邊							
先取MU								
欠席	榎木田、甲斐、菊池、西島、花盛、古澤、峰松、村社							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：黒岩久登 副会長：築瀬 敦 幹事：井野畑善順 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。